



天才アートとは、障
のある人やひきこも
り者などの多くがも
っている優れた感性と表

現力、そこから湧き出
る独創的なアート作
品に対して、NPO 法
人 障害者芸術推進
研究機構（天才アート
KYOTO）が独自にネー
ミングしたものです。
当機構は天才アートを
推進し、その啓発・
普及活動を積極的行
っています。



発行日 2024年6月25日（火）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226
京都市北区紫野西舟岡町2番地
ふれあい共生館「きたアトリエ」
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto

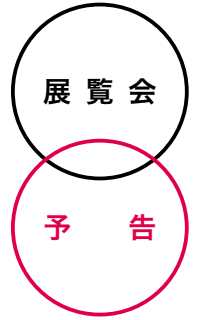
編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



三津田 一輝 Mitsuda Kazuki 『標方志功達磨西来図』 画用紙・クレパス、H545×W395mm、2017年制作



第12回天才アーティスト展2024 堀川御池ギャラリーを会場に 開催（予定）

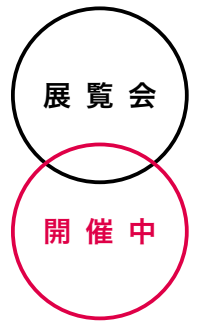
2012年より開催してきた「天才アーティスト展」。2024年の第12回は、堀川御池ギャラリーで復活開催します。コロナ禍中は「オープンスタジオ」と銘打ち、制作の様子紹介と合わせて「きたアトリエ」で展示し好評を得ました。今年度は、会場も変わり心機一転し、この1年の新作を多数展示する予定です。

会期 2024年10月1日(火)～14日(月・祝)
時間 11時～18時/7日(月) 休館

会場 堀川御池ギャラリー・京都市中京区油小路通御池上る押油小路町238-1
入場無料



会場の堀川御池ギャラリー



「青空美術館」 10年目17号の記念展覧は …京都・北山で！

十人十色で個性的な作品…そのデジタルデータをもとに制作した全天候対応のアートパネルを活用した「青空美術館」。ともしれば殺風景になりがちな市内さまざまな工事現場の仮囲い（ホワイトパネル）を屋外ギャラリーに見立て、街角にアートの彩りをそえる天才アーティストならではの取り組みも、おかげさまで満10年になります。

数えて10年・17号となる記念展覧の会場は、生まれ変わりつつある文化環境ゾーンの北山エリア…その中核でもあった旧府立総合資料館の解体現場です。下鴨中通に面して過去最大規模の24作家計30枚のパネル



下鴨中通に面した工事囲い塀の展示の様子



アートパネルを見ながら歩く人たち

に、府立大学へ通う大学生、京都学・歴史館の利用者、コンサートホールのオーディエンスだけでなく、北山に暮らす方々や国内外からの訪問客も足をとめておられます。ぜひこの機会に、北山でアートなひとときをお愉しみてください。

会場 旧府立総合資料館解体現場東側

(下鴨中通フェンス) 左京区下鴨半木町

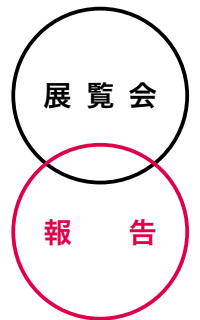
※地下鉄「北山」駅一番出口すぐ

期間 24年6月1日から25年1月末(予定)

協力 運営…(株)日本リグランド

助成…(株)SCREENホールディングス

なお、現在市内では16号「京都中央信用金庫三条支店新築工事」(千本三条・25年1月)でも開催中です。



第6回企画展「AQUA」

テーマを絞った企画展は2016年1月に第1回を開催。コロナ禍でしばらく中断していましたが、去る5月、11日間の会期で再開しました。



会場の様子

再開に際してのテーマは「AQUA」。水は万物創造の源と言われるように新たな歩みで進んでいきたいこと、開催地の伏見が名水で有名なことなどから選定しました。流れる水のようにたおやかに、時には荒々しく描かれる作家7人の作品を展示。

「吸い込まれて行きそう」「心の中を映している」「人にも魚にもどのようにも見える」「のびのびしている」「触ってみたくなる」「どうやって制作していますか」など、皆さん興味深く観覧いただきました。

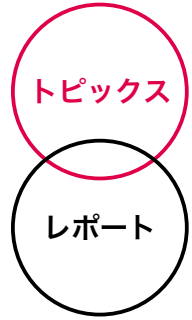
新聞2社が本展を紹介下さり、新聞を見て来られた方や、中には切り抜いて持参された方、当機構の目的や活動についてお問い合わせいただいた方がありました。

会期 2024年5月8日(水)～18日(土)

時間 13時～17時 火曜休館

会場 アトリエ悠

京都市伏見区新町7丁目463-1



SCREENホールディングスさま 本社見学会開催

5月17日（金）、SCREENホールディングスさまに当機構所属作家を本社見学会にご招待いただきました。

同社に天才アートKYOTOの作品レンタルをご採用いただいたのは2017年からで、本社、洛西事業所、門前仲町事業所に作品を飾っていただきました。その後、本社7階と6階の役員フロアの廊下などに加え、今回、本社食堂のリニューアルに伴い、3箇所の階段室に作品を飾っていただくことになりました。現時点で全社において30点を超える作品を飾っていただいています。

作品をご覧になったお客さまや社員の方からは、ユニークで色鮮やかな作品に高い評価をいただいているとお聞きしています。

見学会に参加した6人の作家の皆さんからは、額装された自分の作品を見て、また社員



見学会後の集合写真

の皆さまから喜んでいただいていることを聞き、「もっと良い作品を制作したいと思った」「自分以外の作品を見て良い刺激になった」など、前向きな感想が多く寄せられました。作家さんたちにとって今回の見学会は大きな励みとなり、制作意欲の拡大につながったものと思います。

京セラ株式会社本社カフェの タペストリー用の画像に採用



社内のカフェ「mimosa terrace」に飾られたタペストリーの前で

6月6日（木）、当機構登録作家のゆうだいさんが京セラ株式会社さま本社の見学会に招待されました。5月にゆうだいさん作「きょうとふかめおかしサンガスタジアム」のアーカイブデータを元にタペストリーを作成され、12階の社員用カフェに展示していただいています。タペストリーの前では、多くの社員の方が業務や休憩のひとときを過ごしておられました。その後、京セラギャラリーやファインセラミック館、稲盛ライブラリーもご案内いただきました。

“ボードレス”をテーマに ふろしきSDGs LIFE 2024

5月17日（金）～19日（日）、京都文化博物館別館で開催された「ふろしきSDGs LIFE 2024」は、3日間で1800人を超える来場者があり、成功裡に幕を閉じました。



今年「ボードレス」をテーマに、防災やウェルネス、福祉の切り口で展示やワークショップを企画。ふろしきワークショップに参加された方からは、「たった一枚の布が生活を豊かにしてくれる」「簡単にバッグができて驚きでした」「防災グッズの中にもふろしき入れようと思いました！」など、多くの声が寄せられたそうです。

天才アートKYOTOは、同イベントの実行委員会に参加し、紹介パネルや会報アーティストレビューなど資料の配布のほか、グッズも販売させていただきました。資料をお持ち帰りいただきました。



紹介パネルと配布資料

これまでの技術でつくるか、
これからの技術をつくるか。

革新の分岐点
muratec

村田機械株式会社 <https://www.muratec.jp>
本社/京都市伏見区竹田向代町136

- ▶ ロジスティクスシステム
- ▶ ファクトリーオートメーション
- ▶ 半導体工場FAシステム
- ▶ 繊維機械
- ▶ 工作機械
- ▶ シートメタル加工機
- ▶ デジタル複合機/情報機器
- ▶ 生産管理システム



『アホウドリ』 画用紙・クレパス、H1,100×W1,582mm、2023年制作



『クマタカ』 画用紙・クレパス、H791×W1,100mm、2023年制作

高島 晃平

高島 晃平 Takabatake Kohei 1991年生

高島は時に何枚もの全紙大の画用紙を貼り合わせ、クレパスを用いてダイナミックにカラフルな動物や鳥たちを描きます。しかし、最初からそのような画風だったわけではありません。当初は現実の動物の色に近い絵を描いていました。そして、長い時間をかけてゆっくりと現在の画風を築きあげていったのです。

現在の創造力に溢れたカラフルな動物たちの作品を、ただの画風の変化と捉えれば味気ないとも言えるでしょう。別の見方をするのならば、高島は継続的に描くことによって、現実の動物たちを、彼独自の想像の世界へと誘うことができるようになったのかも知れません。



『エゾリス』 画用紙・クレパス、H792×W1,100mm、2023年制作

前田 渉

前田 渉 Maeda Wataru 1977年生

前田は「宇宙現象」（作者本人による造語）を元に制作しています。彼によると「宇宙現象」とは宇宙の意思、個人の運命に対して振り子のような立場であり、「善／悪」「運が良い／運が悪い」など、すべての中立的立場に在ると言います。前田はその「宇宙現象」に加えて、自動記述（オートマティズム）を取り入れて制作しています。前田作品に必ずといっていいほど登場する「人物」には特定のモデルはいません。ある時は知り合いに似ているし、作者自身にも似ているかも知れません。これらの人物もまた、「私であり貴方である」という個を超越した人物として描かれています。



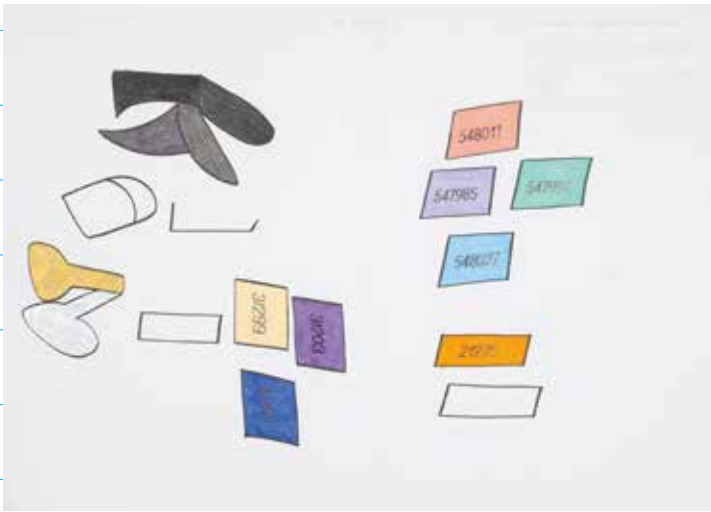
『YOU WANT TO BE FREE!』 キャンバス・アクリル絵の具・ペン、H652×W530mm、2023年制作

知原 諒汰 Chihara Ryota 1999年生まれ

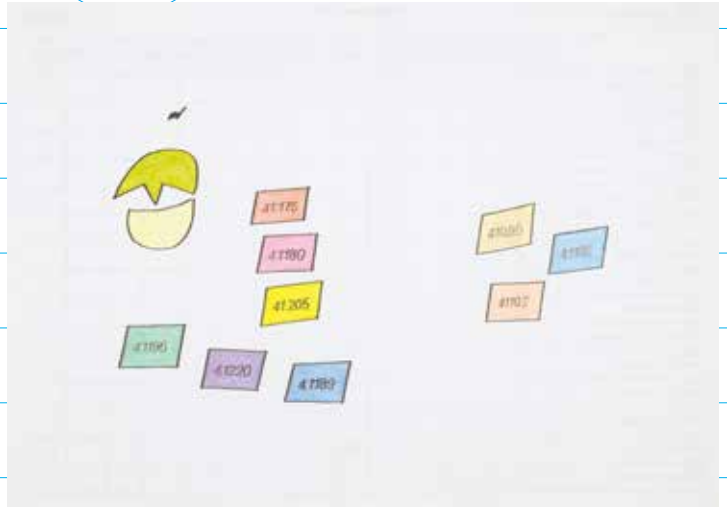
知原には、紙に丁寧にレタリングしたかのように描かれた数字のドローイングシリーズがあります。それは、ただの数字の羅列の場合もあれば、実在のラジオ局の周波数であったりと、彼にしか分からない特定の意味を持つこともあります。ほかに、絵の具で不定形な模様をさまざまな色で紙に描く作品もあります。

近年さまざまなモチーフ（キャラクターと数字と色彩）が融合されたかのようなシリーズの制作が始まりました。知原作品を前にした時、世界が謎の数字と多様な色彩で溢れていることを教えてください。

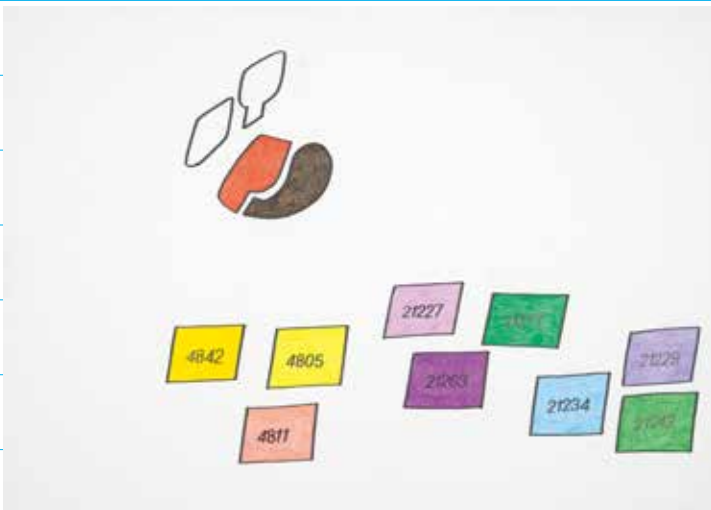
知原 諒汰



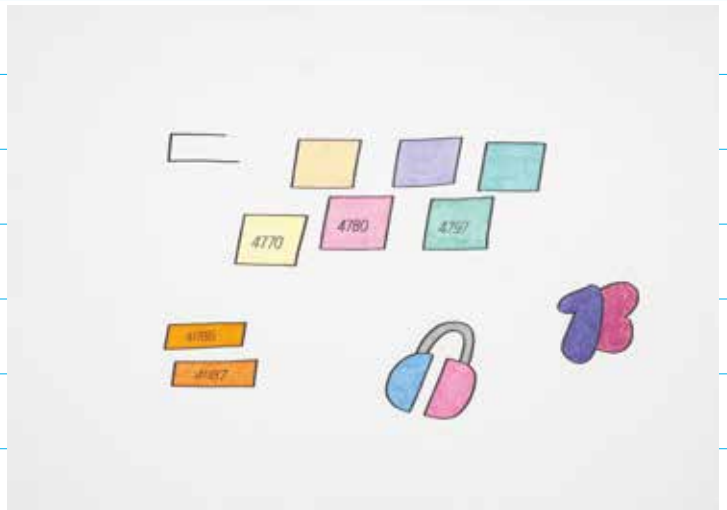
『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H257×W364mm、2023年制作



『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H257×W365mm、2023年制作



『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H 297×W420mm、2023年制作



『無題』 紙・ペン・色鉛筆、H 297×W420mm、2023年制作



『sixth sense』 キャンバス・アクリル絵の具、H606×W727mm、2023年制作



『世界平和』 キャンバス・アクリル絵の具・ペン、H 350×652mm、2023年制作

ご家族さま
より寄稿

「継続は力」

根ヶ山弘順

● 出会い

天才アートKYOTO（以下、天才アートという）との出会いは、呉竹総合支援学校の関係者から障がい者の絵画展があるの
で、見学に行かないかとお誘いが始まり
です。その後、天才アートのメンバーが作
品を制作していた新道アトリエに見学に
行った時に、その少年の物語を熱心に聞い
ていただいたT先生から、その物語を絵に
描いてみたら面白いとの言葉で、天才アート
に入らせていただき制作をスタートしまし
た。今思えば、少年の人生を大きく変えた
のは、呉竹総合支援学校への入学とアトリ
エ見学の時にやさしく迎えていただいたT
先生のおかげだと思います。

● 成長

その少年は、アメリカのカリフォルニア
州で生まれました。BIG BABYと言
われましたが、生後3日目にNICU（乳
児集中治療室）に入らなければならぬほ
どの状態になり、生死の境をさまよいまし
た。幸いに、輸血などの対応で2週間後には
退院しましたが、後遺症の問題が成長と
ともに関係するかもしれないと医師から言
われました。また、その年の暮れに、少年が、
血友病であることが判明しました。帰国す
る4歳までは、頭を打ったり、倒れたりし
た際には、製剤投与のため、スタンフォー

ド大学の小児ホスピタルに行き来をする生
活を送りました。

4歳で日本に帰国後は、血友病対応の
ため、週3回の製剤投与の通院と急な出血
などの対応で、病院へ駆け込む対応を取り
つつ、帰国子女として、聖母幼稚園に入園。
その後、京都市立桃山東小学校に入学、高
学年の折に、広汎性発達障害（自閉症スペ
クトラム）と軽度の知的障害の判定があり
ました。中学は、京都市立桃山中学校に入
学しましたが、やはり、いろいろな困難が
あり、高校から京都市立呉竹総合支援学校
に、お世話になることとなりました。

● 継続

小さいころから現在まで継続しているこ
とが2つあります。

一つは、書道です。小学1年の時に近く
の書道教室で書道を習い始めました。始め
た頃から高校まではお手本通りきつちりと
書くということが、なかなかできず、昇級
しませんでした。一般の部になり、気に
入った書体を、自由に書くことができるよ
うになると、昇級・昇段し、現在は、特待
生として、課題を毎月提出しています。

二つ目は、水泳です。縄跳びやマラソン
などをするうちに、足首に出血が繰り返
し起り、先輩の「25m泳いだら、大会に出
られるよ」との一言で、高野にある京都市

障害者スポーツセンターに通うこととなり
ました。スポーツセンターの水泳教室など
を進めてゆく中で、全京都の水泳大会など
の実績から長崎県で開催されたパラ国体
の選手として参加させていただくことがで
きました。終了後、高野で毎週練習されて
いた京都障害者水泳クラブ（京都SC）へ誘
っていただきました。入会したころ、一緒
に泳いでいたメンバーには、今年パリで開
催されるパラリンピックに平泳ぎの選手と
して出場される方もいらっしゃいます。

● 変遷

中学校時代においては、段ボールを電車
に見立て、ガムテープでいろいろな装飾品
を作ったりして、中に入って遊んでいま
した。呉竹時代に入ると、学校にあるいろ
んな材料から、家庭で作成できないよう
な剣や盾を作り、学園祭においては大きな
龍を制作し、並行して美術部に入るなど、
驚かされました。

呉竹卒業後、福祉工房P&Pでは、パ
ソコンで絵を描き始め、天才アートでは、
竹時代からの継続として、色鉛筆などで、
色や形を表すとともに、表現しきれない
ものは、言葉で足して、表現していました。

その後、シロクロのワンコが自分の分身
として、コスプレなどで変身させて、自
分でも楽しみながら、制作を行っていま
した。そして、従来は、言葉で説明が必要
でしたが、色や形で表現できるようになり、
作品を形づくるのに、幾何学模様で自然
を表現したり、メカにさせたりすること
でテーマ

が生まれ、併せてストーリーが生まれて
きました。そのうち、「小さいネズミが集
まって、大きなネズミになった」とい
う作品をきっかけに、ネズミで描く作
品が完成し、現在に至っています。

干支や星座や神話など興味を持った
題材をシリーズ化し、描いています。

● お願い

少年が、小学生の時に、真っ黒い
絵を画用紙に描きました。少年は、家
があり、火事になり、家が燃えた結果
が、黒い絵でした。それぞれの絵が
あれば、その都度のアドバ
イスがあれば、と当時の担任より、
話を伺いました。学校の授業で対
応することは難しいですが、天才
アートでは、対応が可能なです。
今後、さらに、充実して頂き
たいことは、作者の持つ能力を
やさしく引き出す関係構築、
過程を見守り、育てるコミュニ
ケーションの充実をお願いいた
します。

● 継続は力

その後は、コロナの時代が訪れたこと
など、天才アートでの作品制作が、
できなくなることから、自宅
で細々と続けております。以前
の作品が、地下街での展示や
堀場製作所様やSCREEN様
などで展示いただくことで、
その会社の方から、お声を
かけていただいております。

折角、いろいろな方とのつながり
で進んできましたので、先に
申しました「継続は力」を
少しずつでも実践してゆき
たいと思います。

退任理事からのご挨拶

理事
北波 博
きたば ひろし



24年3月31日に理事を退任しました北波博です。私が初めて障碍のある人の美術作品に触れたのは三条寺町の角にあった画廊でした。偶然立ち寄った画廊に展示されていた作品を見て驚きました。構図もよく透感のある色彩が美しかったのを憶えています。京都府南部にある病院でのOTで制作された作品でした。その後美術系大学で教鞭をとるようになり、教育課程論や美術科教育法等を教える中で、「アール・ブリュット」についても講義をしました。

「アール・ブリュット」の命名者であるジャン・デュビュッフエは、1945年夏に作家のジャン・ポーランや建築家のル・コルビジェと共にスイスを旅し、ベルンのバルダウ病院やジュネーブのベルエール病院、ローザンヌのセリー病院、バーゼルの刑務所などを訪れ、アドルフ・ヴェルフリやアントン・ミュラー、アロイズ・コルバスなどの作品を見て強い感銘を受け、これらの作品を「アール・ブリュット」と

名付けました。49年にはルネ・ドルアン画廊で「文化的芸術より生の芸術を」展を開催しました。展示する作品の選定基準は「時代の潮流を模倣するのではなく、主題、素材、制作方法、表現方法など、全てを自身自身の根底から抽出した作品」としました。例えばヴェルフリ作品は、彼に過酷な半生を強いた社会に対する報復行為であり、彼にとつて不条理極まりない人生と折り合いをつけるための自己防衛の手段だったと言われています。生の芸術という訳です。

私が大学で教えていた美術科教育法には、生徒が制作した作品展示法も含まれています。大学付属のギャラリーで「共生社会の実現に向けて一步を踏み出す展覧会」という題名の展覧会を学生と共に企画し実施しました。内容は大学生と障碍のある人、近隣の小学校に通う児童の作品を、区別なく交互に展示するという内容でした。展示作品の選出は、対象となる作品数も少なく、独善的ではありませんが、「文化的芸術より生の芸術を」展に倣いました。毎年続けている身近な作品展では、「退職校長園長、北・上京・左京支部作品展」を、退職者の趣味の作品展だけではなく、共生社会の実現を作品展実施の側面からも目指すというコンセプトで作品展づくりを目指しています。

さて、私は24年4月から、まだいくつかの団体の理事や幹事等の役目は残っているものの、ほとんどの時間を自分の制作のために使えるようにしたつもりですが、残念ながら未だ実現できていません。これから努力が必要ですね。

新理事からのご挨拶

副理事長
雨宮 章
あまみや あきら



さて、この春より「天才アートKYOTO」の一員としてお手伝いをさせて頂いたことがとなりました。雨宮章と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

思えば昨年の秋、北アトリエで開催された天才アート展2023でボランティアをしたことが縁となり、これまでの知見・経験・人脈等々が少しでもお役に立てるなら、との有志でメンバーに加えていただいた次第です。

生まれも育ちも京都の66歳です。地元の同志社大学で美学芸術学を専攻・卒業するも、中学校教員（社会）を経て30歳で京都府庁に召喚、以後は教育・国際・経済・広報畑を歩み、文化芸術政策に携わったのは最後の8年ではありました。ただこの間、「源氏物語千年紀」「古典の日」「琳派四百年」「文化庁京都移転」などのキックオフに関わりつつ、京都学・歴史館の建設や府立植物園の再生など「北山」のエリアマネジメントにも。定年後は、京都御苑の東西にあ

る文化芸術会館と府民ホール「アルティ」の館長を5年、舞台芸術とともに現代アートの若き才能とオーディエンスの両翼育成を手がけてもりました。中でも、亀岡のみずのき美術館さんや荒神口のアトスペース co. さんとともにミッションをともにしたなつかしい経験が、今ではかけがえない財産に思えます。

「天才アートKYOTO」が進める才能発掘と育成（アトリエ提供とストレージ確保など）、そして原作のみならずアーカイブデータをも活用して、世に送り出す（寄り添い背中をおしていく）その姿勢は、まさに私の矜持とシンクロするものでありました。

アートは、花や木を植えて育てることに似ています。肥料だけでなく水も光も風も要ります。明日を信じて時間もかかります。しかしそれは、創る者も観る者も継ぐ者も幸せになる道程標（マイルストーン）に他なりません。自分の好きに自信をもつて、自分の好きを全開して、新しい自分に出会う、そんな旅路のお手伝いをさせて頂いたことができれば本懐です。

どうぞ「天才アートKYOTO」のことも、引き続きよろしくお願ひいたします。

プロフィール

京都市出身・同志社大学（美学芸術学）卒業
京都府文化芸術会館および府民ホールA「二前館長」
公益財団法人中信美術奨励基金理事
京都市市民憲章推進協議会委員

共創アートプロジェクト 「京都ふおんと」に参画



「京都ふおんと」プロジェクトは、一般社団法人シブヤフォントが運営する「ご当地フォント」プロジェクトの趣旨に賛同し、スタートしました。「ご当地フォント」は、日本や世界中の障がいのある人・デザイナー・障害者支援事業所による共創アートワーク（フォントやパターン）を世界中に届けるソーシャルプロジェクトです。現在、京都を含む16の地域で展開しています。

「京都ふおんと」は、天才アーティストとタカラサブライコムユニケーション株式会社による共創アートワークで、京都に関連する商品・サービスや施設のサインなどに幅広く使っていただけるものです。今後、一緒に制作していただける福祉施設を増やして、さらに活動を拡大していく予定です。ご興味のある方は、ぜひホームページをご覧いただいでご協力をお願いします。
https://www.takara-sc.co.jp/kyoto_font/



ホームページの画面例
上段は足立茉莉さん
下段は高島晃平さん

企業・団体の助成、協賛の募集

当機構の運営予算の多くは、企業さまや団体さまの助成金や協賛金などによって支えられています。

NPO法人として2011年の活動開始以来、登録作家は15人から現在49人と大幅に増え、『天才アート展』や『青空美術館』などの各種展示事業、作品收藏と作品アーカイブ事業、『会報』発行やHP配信などの広報事業など幅広く取り組んでいます。

展示や協働事業などのオフアワーが年々増えてきており、画材費の高騰などとともに資金の確保が常に課題となっています。さらに多くに企業などのご助成やご協賛の支援をお願い申し上げます。

【特別協賛などの企業さま・団体さま】

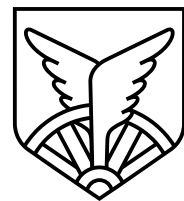
- 株式会社 SCREENホールディングスさま
- 一般財団法人 NISSHA財団さま
- 株式会社村田製作所さま・村田機械株式会社さま
- 株式会社堀場製作所さま・洛和会ヘルスケアアシテムさま
- 京都中部総合医療センター看護専門学校さま（順不同）

＜編集後記＞

豊かな自然環境に恵まれ、文化や芸術学術スポーツに触れながら人々が交流し、より魅力的なエリアへと整備が進む北山。その地にこのたび「青空美術館」を開設することができました。ご協力いただいた SCREENホールディングスさま、日本リグランドさまには心より感謝申し上げます。

また、秋には久々に堀川御池ギャラリーにて「天才アート展」を開催することになりました。当機構としてもますます制作環境の充実に務めてまいりますので、作家の皆さまも創作意欲に燃えて、素晴らしい作品を生み出していただきたいと思います。

HAGURUMA



【表紙の作品について】

三津田は図鑑や画集などからモチーフを選び出して描きますが、彼の手にかかるとそのどれもが生き生きと奔放に、そして時にユーモラスにデフォルメされるのが大きな特徴です。

三津田の作品が、多くの見る者をひきつけてやまないのは、描かれたモチーフのひとつひとつが、鮮やかな色彩を通じて生命を宿すからかもしれません。



三津田 一輝 Mitsuda Kazuki
『棟方志功達磨西来図』 画用紙・クレパス、H545xW395mm、2017年制作

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします
総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ
☎ 075-353-2522

京都上鳥羽の印刷会社
MORITA
(有)森田美術印刷
京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎075-692-3131

妙心寺 塔頭
養徳院
永代供養のお寺 075-461-2898

Yo Shima
吉村建設工業(株)
京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360

SCREEN

一般財団法人
NISSHA財団

夢、そして誇り。この街で…
洛和会ヘルスケアシステム®
洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院